

神戸大学医学部附属病院

小児科

指導担当医（役職）

南部 静紀（特命助教）

実習概要

概要

小児科は新生児、腎臓、血液、さくら(神経・筋・代謝・内分泌・遺伝)グループに分かれており、1週毎に各グループをローテートしてもらいます。オーダーは行いませんが、それ以外はほぼ初期研修医と同様に行動します。学生1人当たり患者さんを1名以上担当し、主治医団の回診やIC、検査に同行し、治療計画を立案します。回診やカンファレンスでは研修医とともに症例のプレゼンテーションを行います。

医療面接

担当患者を毎日診察します。医療面接と身体診察を行い、指導医に報告・相談を行います。

身体診察

担当患者を毎日診察します。回診時だけではなく、自主的に患者さんのところに行って診察するようにしてください。

新生児から乳児、幼児、学童、青年とそれぞれの年齢における診察所見の違いについて学べます。

カルテ記載

担当症例に関して学生カルテに記載を行います。指導医が記載内容をチェックし指導します。

症例プレゼンテーション

回診やカンファレンスで担当症例のプレゼンテーションを行います。

その他（特色など）

各専門領域の疾患、検査や診察手技、治療について学ぶことができます。

学生へのメッセージ

臨床実習1では1グループへの配属で、他グループの疾患を学ぶ機会は多くありませんでした。臨床実習2では4週間かけて神戸大学小児科の全グループをローテーションしてもらうので、各専門領域の多種多様な疾患や、様々な検査や治療について学ぶことができます。小児科での実習はどの科に将来進んでもきっと役立つものになると思います。一緒に頑張りましょう。